



錦中だより

学校教育目標：自己を含めた、全てのものの生命を尊重する人間の育成

令和8年度《第1号》

令和8年4月13日

守口市立錦中学校

校長 佐藤 裕宣

令和8年度は242名でスタート～16代目の校長です。よろしくお願いします。～

令和8年度、各学年3クラス、支援(ひまわり)学級5クラス、生徒数242名でスタートしました。私、16代校長として赴任した佐藤 裕宣(やすのり)です。よろしくお願いします。4年間勤務した樟風中の桜はまだ若く、創立50周年が近づく錦中の校門の見事な桜に着任早々うっとりする日々でした。(左:4月3日撮影)藤田小の3年を含め校長8年目の春でしたが、8日の入学式、9日の始業式を何とか無事終え、ほっとしています。日を追うごとに生徒との距離感が縮まってきたのか会話することが増えてきて、嬉しく思っています。まずは第1号、令和8年度のスタート、新鮮な日々をまとめてみました。



4月8日：祝！第47回入学式～49期生・81名を歓迎～

例年5日に小学校・6日は中学校と、曜日に関係なく固定されていた入学式ですが、今年度より8日午前が小、午後にて中の開催となりました。今後、8日が土日になると週明け月曜日の開催となります。さて、47回目となる錦中入学式ですが、快晴かつ満開の桜(右)の出迎えもあり、素晴らしい式



になりました。12時45分に巻紙掲示、クラスを確認した1年生は、まず4階の教室で式の確認事項を行い、13時半にプラカードを持つ生徒会執行部の先輩による先導で体育館に入場してきました。(左)



「新入生呼名」で見せる新入生の表情が、入学の喜び、担任との出会い、新鮮に映りました。また、「生徒会歓迎の言葉」(右)

で登場した生徒会長の語りは、お見事、立派でした。そうして迎えた、選抜2・3年生・合唱隊による「校歌紹介」の時間。(左)私にとっても初の錦中の校歌。元気で実に美しい歌声を披露してくれました。ピアノ伴奏を含め生徒達だけでやり切ってくれました。頼もしく感じました。式の最後「新入生誓いの言葉」では、“行動に責任を持って、充実した三年間を過ごしていくことを誓います。”と力強く壇上で語ってくれました。式後は各教室で初のホームルームの時間となりました。(下)同時に体育館では保護者集会を開催し、終われば新2年生(旧1A)が後片付け。前日にも2年生(旧1B・1C)が会場準備を入念に行ってくれたことも感心でした。

式後は各教室で初のホームルームの時間となりました。(下)同時に体育館では保護者集会を開催し、終われば新2年生(旧1A)が後片付け。前日にも2年生(旧1B・1C)が会場準備を入念に行ってくれたことも感心でした。



4月9日：2・3年生クラス発表 ～ 1学期 始業式・着任式・決意と抱負・対面式 ～



8時25分からクラス発表。(左)3年生は手前・桜側、2年生は奥・クラブボックス側で行いました。これまで経験した学校の中で一番穏やかな雰囲気でした。その様子を眺めた後、9時からの始業式に備え早めに体育館に行くと、既

にきっちり整列完了した3年生の姿だけが会場内にありました。(右)この3年生の姿勢こそが、この日一連の儀式を緊張感ある時間に仕立て、錦中の新年度のスタートを気持ちのいいものに導いてくれたと感じています。私の式辞の中では、前日の入学式での、1年生へのお願い事を2つ復習しつつ、2・3年生に向けても発展させ、3学年への共通のお願い事にしました。①:「一日6時間ある50分の授業を、集中して意欲的に学んで欲しい。」…3年生、進路で後悔しないように。2年生、中だるみ厳禁。“集中力のスタミナ”についても入学式同様触れました。②:「3年生・2年生のいい所をお手本にして、早くカッコいい中学生になって欲しい。」…先輩はいい手本を示せ。3年生、最高学年の貫禄を示せ。2年生、先輩のカッコよさ。ミドルリーダーの役割を果たせ。…こんな話でした。3学年とも非常に集中して聴いてくれて充実感がありました。今後ともよろしくお願ひします。続く、着任式では9名の教員の紹介をし、代表して橋先生が挨拶しました。(左)教科等を含め担任発表後は、新年度を迎えた「決意と抱負」を2・3年生代表2名ずつが壇上にあがり、堂々と語っていました。(右)頑張れ。継続は力なり。そんな思いを持って聴きました。この日の儀式の最後は対面式。1年生と2・3年生が向かい合い、1年生が「新入生の誓い」(左)を、生徒会長が「歓迎のこ



ば」を順に伝え、響き渡る大きな拍手で新たな出会いを祝いました。いい光景でした。締めは、生徒指導主事の弓場先生。後方から見ても、最後まで頭の動きが非常に少なく、聴く姿勢が素晴らしい生徒達だと感心でした。



4月7日：いきいきP(小中一貫教育推進会議)全体会 ～めざせ!自称“錦学園”～

錦小・中では「いきいきプロジェクト」として、9年間を見通した小中一貫教育をすすめてきています。今回も新年度早々、7日に本校視聴覚室にて、小中教職員の顔合わせの機会を持ちました。まず、錦小の熊崎校長が挨拶され、(右)



続いて担当の錦小・藤森先生の説明を聴きました。小中の順で自己紹介の後、分科会ごとの顔合わせ(左)・写真撮影の前に、全体会最後の挨拶を私がしました。施設隣接型の関係、“1小・1中”の強みを活かして、やってみたいことが数々思い浮かび、自称“錦学園”構想みたいなことを語りました。私の今年度の目標の1つに、頻繁に錦小に足を運び、多くの5・6年生と知り合いになることを掲げることになりました。さっそく8日には、2～6年生の教室を見ることができました。(右)



施設隣接型の関係、“1小・1中”の強みを活かして、やってみたいことが数々思い浮かび、自称“錦学園”構想みたいなことを語りました。私の今年度の目標の1つに、頻繁に錦小に足を運び、多くの5・6年生と知り合いになることを掲げることになりました。さっそく8日には、2～6年生の教室を見ることができました。(右)

